

平成 28 年 10 月吉日

新潟県作業療法士会
会長 横田 剛 様

新潟県薬剤師会
会長 山岸 美恵子

「薬局薬剤師の在宅訪問」リーフレットの送付について（周知のお願い）

仲秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当会では、平成 28 年度地域医療介護総合確保基金事業を活用して薬剤師の在宅医療の取組みを推進しています。この度、薬局薬剤師の訪問薬剤管理指導の有益性について医療、介護、福祉に関わる介護支援専門員のみなさまをはじめ、多職種の方々にご理解いただくことを目的として、標記リーフレットを作成いたしましたので、送付いたします。

このリーフレットは、医師、歯科医師、看護師、介護支援専門員等、多職種の方々に薬局薬剤師が在宅訪問してできることをご紹介しますが、表面（保険薬局の薬剤師が「在宅訪問」いたします）は、患者・利用者等、地域住民のみなさまにもわかりやすい内容といたしました。

つきましては、貴会会員のみなさまにご紹介いただく等、ご活用いただければ幸いです。

なお、本リーフレットは、新潟県民医療推進協議会の構成団体の皆様の他、県内の市町村介護保険担当課（係）、地域包括支援センター、保険薬局等へも送付しており、貴会会員の皆さまにもご覧いただく機会があるかと存じます。

ご多忙中、大変恐れ入りますが、ご理解、ご協力いただきますよう何卒お願いいたします。

<お問い合わせ先>

公益社団法人新潟県薬剤師会

担当： 事務局 齊藤、林

TEL 025-281-7730

FAX 025-281-7735

薬剤師の「在宅訪問」とは

ご自宅にうかがって、
お薬の管理などのお手伝いを
することです



あなたのお薬に対する
不安や疑問に、
薬剤師がお応えします！

例えば…こんなことで困っていませんか？



飲みづらいお薬を
飲みやすくする工夫を
考えます



飲み残したお薬や、
いらなくなったお薬があれば
調整・整理します

最適な薬物治療を支援するために、
必要な方に薬剤師が「在宅訪問」とすると…

- ✓ 療養生活の様子から、今飲んでいるお薬が合っているかどうか、
かかりつけ医と相談できます。
- ✓ 生活リズムに合わせ、お薬の飲み方の変更を医師に提案できます。
- ✓ お薬の管理をお手伝いすることで、ご家族の負担を軽減できます。

保険薬局の薬剤師が 「在宅訪問」いたします

薬剤師の
「在宅訪問」
ってなあに？





薬剤師が「在宅訪問」をするメリット

- 薬の包装を個々に切り離したり、中止になった薬も一緒に保存しているなど適切に保管されていない事例が多くあります。整理しきれなくなった薬を薬剤師が整理し、服薬しやすい管理方法をご提案します。
- 薬の飲み残しの原因は人それぞれです。例えば、薬が大きくて飲みにくかったり、飲みにくい形だったり、また薬効を理解できていない、飲み方が分からない、副作用が怖いなど、原因により対応策は異なります。薬剤師が原因を調べ対応策を検討してご提案します。
- 認知機能が低下したり、身体的に服薬が困難な場合も、服薬支援策を検討いたします。
- 薬の副作用の早期発見に努め、医療機関と連携します。
- 複数の医療機関を受診していると、薬の種類が増えてしまう例が見うけられます。同じような薬効の薬はないか、作用は重複していないか飲み合わせを確認し、重複する薬を減らすなど処方提案します。

在宅医療で必要となる
医療材料・衛生材料は薬局でも
提供できます

在宅における感染防止対策や
消毒方法を
アドバイスします

在宅においても
院外処方箋による
内服・注射・外用の
医療用麻薬による
疼痛管理ができます

薬剤師は
在宅医療において、
訪問以外にも
こんなことができます

院外処方箋による
輸液療法ができます

薬に関する
セミナー開催の際は
薬剤師にお声がけください

認知症の早期発見や
サポートに積極的に
関与します

※全ての薬局が対応できるわけではありません。



薬剤師の訪問薬剤管理指導について、
まずは、調剤された「かかりつけ薬局」にご相談ください。

公益社団法人 新潟県薬剤師会
<http://www.niiyaku.or.jp>

電話：025-281-7730
FAX：025-281-7735